

る問題があるとして幼児や市外の子どもを対象としなかったが、改善策はどうか。

答 事業終了後、学校からは人数も管理的に問題なく、管理委託業者からも水質管理に問題はなかったと聞いている。26年度はおむつを使用していない幼児の利用と、市外の子どもの利用を可能としていきたい。

問 巡回バス等、交通空白地に対する市の考えは

答 地域公共交通会議で出された素案では、公共交通空白地についてバス停留所まで予約制乗り合いタクシーを走らせるとしている。市はその方針でよいと考えるのか。

答 素案作成にはアンケート結果を踏まえている。会議で議論を深めたい。

鎌田篤司（自由クラブ）

大災害時における医療救護所について

問 震災の被害想定から医療救護所の取り組みは。

答 中学校区ごとに救護所設置を検討している。医師会の各名防災担当幹事が校医をする中部中学校をモデル校とし取り組みたい。

市民病院で人間ドック事業の開設を

問 市民病院で人間ドック開設の可能性は。

答 可能だと考えている。ハード面の問題で、すぐには難しいが開設すれば保険診療以外の収入確保ができ安定経営に貢献できる。

その他の質問

- 1 公共施設の統廃合
- 2 定住促進策
- 3 春日浦分譲地販売促進
- 4 いきいき市民健康づくり事業
- 5 予防接種の広域・個別化

尾崎広道（自由クラブ）

名鉄西尾・蒲郡線沿線のレンタサイクルについて

問 名鉄沿線や駅前で放置自転車を利用したレンタサイクルについて



西尾市でレンタサイクルが行われている赤馬Go!

タサイクルの貸し出し場所があれば、観光地巡りに便利で名鉄電車の利用促進も図られると思うがどうか。

答 事業者や地域の商店街の方々が日々の貸し出しや管理等にご協力いただければ、実施の検討が可能ではないかと考えている。

蒲郡東高校への緊急車両等の進入路について

問 市の避難施設となっている県立蒲郡東高校への進入路は、大塚駅北側の市道と林道犬口線の2路線



地域住民の手で作られた防災マップ

問 地域住民による防災マップづくりは防災意識の啓発にもなり、重要な防災対策と考えるがどうか。

防災対策について

喚田孝博（志誠クラブ）

がある。林道を通過できるか定期的なチェックが必要と感じているがどうか。

答 犬口グラウンド付近の路肩が大型車両の重量に耐えられない可能性がある。地域の方と連携して対策を検討していく。

答 意識向上に非常に貢献していると考え、市も

改正耐震改修促進法の施行により耐震診断が一部で義務化された。観光業にも影響があるが対策は。

答 市内に耐震診断が必要な観光施設は3棟ある。県の補助金等の創設を注視し、支援を検討したい。

外国人被保険者の海外療養費不正受給対策は

問 申請時にパスポートを提示していただき渡航履歴や治療時期を確認する取り組みは、不正防止効果があると考えるがどうか。

答 今後は申請手続き時に、パスポートの提示をお願いしていきたい。

鈴木基夫（自由クラブ）

ヘルスケア計画と市民病院のあり方について

問 市民病院に臨床研究の機能を持たせ、他の公立病院との差別化を図ってどうか。